

令和7年度ふくしま震災伝承者交流会実施要項

1 目 的

東日本大震災・原子力災害の発生から14年が経過し、全国で風化が進む中、風化防止・風評払拭のために活動している震災伝承者は、高齢化や後継者不足などの課題を抱えている。また、震災を知らない世代や被災していない方などの多様な立場の方にどのように伝えるかという課題も抱えている。

こうした課題に対し、県内各語り部団体の会員や震災伝承に関心のある人等が、様々な立場から思いを共有することで、今後の語り部活動や語り部育成の取組に生かすことを目的とする。

2 テーマ 「あなたなら どう伝えるか？」

3 開催日時 令和7年12月9日（火） 10：20～14：20

4 場 所 富岡町文化交流センター 学びの森（2階）大会議室

5 内 容

10：20～10：30 開会

10：30～11：30 講話「目に見えない放射線 ―伝えたかったことと聞きたかったこと―」

講師：株式会社千代田テクノル社長付特別顧問／近畿大学客員教授
杉浦 紳之 様

1961年生まれ、東京都出身。東京大学医学部保健学科卒業。医学博士。日本原子力研究所、東京大学、近畿大学、放射線医学総合研究所、原子力安全研究協会を経て、2021年より現職。

専門分野は放射線防護。東京電力福島第一原子力発電所事故後、専門家・学識経験者として、福島で線量測定、リスクコミュニケーションに関わり、福島県内の市町村職員や住民の方々に放射線の人体影響に関する講演などを行っている。

目には見えなくて説明の難しい放射能についてどう伝えるか、様々な立場の方にどう伝えていくのかなど、東京電力福島第一原子力発電所事故後、多様な立場の方々へ原子力・放射能についてお伝えしてきた講師が、その経験を基に、「伝える側」の悩みや難しさ、「受け取る側」から学んだことなどをお話します。

11：30～13：00 休憩

13：00～14：00 グループワーク（各グループで、語り部への「よくある質問集」のうち選んだ質問について意見交換後、グループで出た意見を発表する。）

進行：福島大学准教授、一般社団法人ふくしま学びのネットワーク理事・事務局長
前川 直哉 様

14：00～14：15 感想発表（フリー発表）

14：15～14：20 閉会 ※閉会后 14：20～15：00 フリー交流

6 主な参加対象

県内各語り部団体の会員、伝承者育成講座参加者、震災伝承に興味のある方、震災伝承施設関係者、市町村等関係者、福島県観光物産交流協会、福島県教育庁 等
70 人程度 ※どなたでも参加可能

7 周知先（広報媒体）

東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部ネットワーク会議会員、令和7年度伝承者育成講座受講者、震災伝承施設、福島県観光物産交流協会、福島県教育庁等
(ふくしまマナビ i、福島県ホームページ)

8 申込締切

令和7年11月30日(日)